

令和7年度 豊岡市 認知症地域支援推進員活動報告

認知症地域支援推進員について

- 1 認知症地域支援推進員：2名
- 2 認知症地域支援推進員の役割
 - (1) **普及啓発**・本人発信支援 ※普及啓発を重点施策とする
 - (2) 予防
 - (3) 早期発見・早期対応
 - (4) 医療・ケア・介護サービス・介護者への支援
 - (5) 認知症バリアフリーの推進・若年性認知症の人への支援・社会参加支援

報告者氏名： 中藤 佳代 林 恭子

豊岡市 認知症施策全体図

(4) 認知症総合支援事業

豊岡市認知症総合支援事業（認知症あんしん大作戦）の取組

目指す姿：認知症の人の意思が尊重され、できる限り住み慣れた地域のよい環境で自分らしく暮らし続けることができる。

豊岡市認知症支援ネットワーク会議

〔業務〕 認知症支援事業の企画・調整、ネットワーク構築、初期集中支援チームの活動について検討
 〔組織〕 認知症サポート医、民生委員・児童委員、家族介護者、介護保険事業所、豊岡市社会福祉協議会、認知症疾患医療センター、県、行政等

※赤字：重点的に取り組むもの

	五つの柱	豊岡市の取り組み（第9期）
認知症の人やその家族の視点を重視して、取り組みを行う	①普及啓発・本人発信支援	a. 認知症サポーター養成と受講後の活動の支援 b. 認知症キャラバンメイトの活動支援 c. 身近な場における認知症理解の普及・啓発 d. 認知症の人の生活を知り、ともに暮らすための普及啓発
	②予防	a. 認知症予防講座の開催
	③早期発見・早期対応	a. 地域包括支援センター等に早期に相談がつながる仕組みづくり b. 認知症疾患医療センター、かかりつけ医等との連携 c. 認知症ケアネット（国：認知症ケアパス）の周知・活用 d. 認知症初期集中支援チームの周知・活用
	④医療・ケア・介護サービス・介護者への支援	a. 認知症地域支援推進員の設置 b. 介護従事者等に対する研修・事例相談会の開催 c. 認知症の人と介護者への支援 ・認知症カフェの周知 ・認知症カフェ等の立ち上げ支援及び運営支援 ・認知症家族介護教室の実施
	⑤認知症バリアフリーの推進・若年性認知症の人への支援・社会参加支援	a. 若年性認知症の人と家族への支援 ・相談窓口の周知 ・若年性認知症の人と家族のつどいの実施 ・若年性認知症生活支援相談センター等との連携 ・当事者の居場所づくり・社会参加への支援 ・当事者及び家族の思いの発信 b. 地域見守り体制の推進 ・高齢者見守りネットワークの充実 ・認知症高齢者等見守り・SOSネットワークの充実 ・個別ケア会議の開催 c. 権利擁護の推進（68ページに記載） ・消費者行政窓口、弁護士会等職能団体との連携 ・市民後見、法人後見の検討 ・権利擁護研修会の実施

豊岡市老人保健福祉計画・
 第10期介護保険計画 抜粋

豊岡市における認知症サポーター養成講座

金融機関・企業等での認知症サポーター養成講座の 重点的開催

【積極的アプローチ実施となった理由】

近年、金融機関や小売店やスーパーから認知症の人に関する相談や対応方法について連絡が入ることが多くなっていると感じた。

実施目標

◎認知症サポーター養成講座(介護保険計画)
実施回数：30回　　養成人数：600人

◎金融機関・企業等での実施(R7年度)
実施企業数：10か所

豊岡市における認知症サポーター養成講座

企業、金融機関などを中心に実施を勧めていくため、以下のような働きかけを実施。

- ◆買い物支援ネットワーク会議にて認知症サポーター養成講座について周知を図った。
- ◆行方不明等により警察からの情報提供が市内でも多い市街地エリアの商店街に見守り等の意識を持ってもらうため、講座の開催を依頼した。
- ◆金融機関へ直接、認知症サポーター養成講座について、説明に伺った。
- ◆説明の際には、認知症サポーター養成講座のみの説明に留まらず、市が実施している認知症施策についても説明し、協力依頼した。

※買い物支援ネットワーク会議とは、買い物支援等を実施する企業と情報交換を行い、市・社協・企業等が連携・協働することで、買い物に困っている方へ支援する取組みについて話し合い、検討することを目的に開催する会議。

豊岡市における認知症サポーター養成講座

実施結果

◎認知症サポーター養成講座(介護保険計画)

目標 実施回数：30回 養成人数：600人



【全数】 実施回数：22回 養成人数：703人

◎金融機関・企業等での実施数(R7年度)

目標 実施企業数：10か所



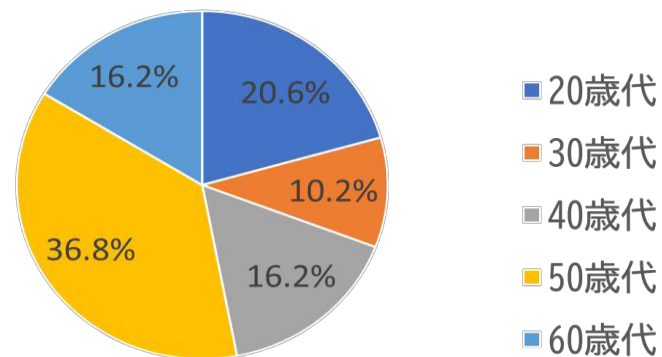
**実施企業・団体数：10か所
養成人数：93人**



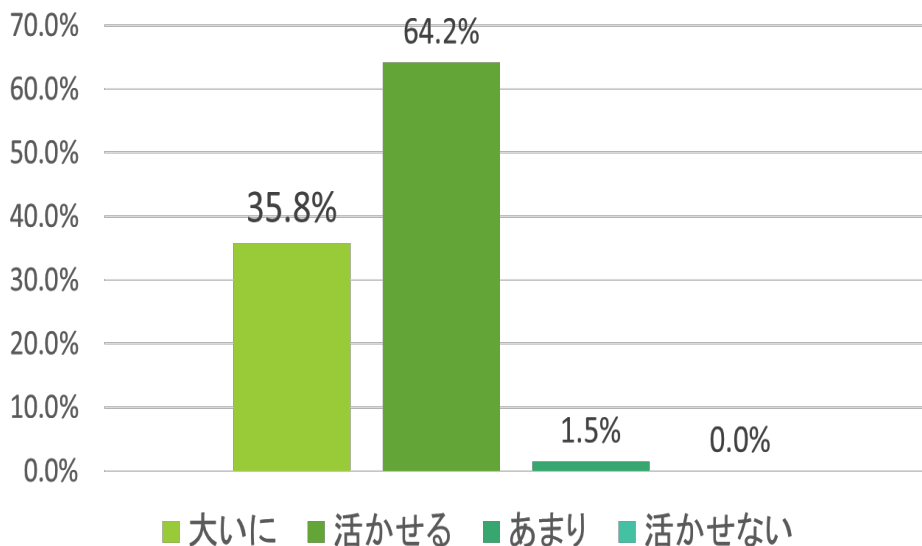
豊岡市における認知症サポーター養成講座

認知症サポーター実施後 アンケート結果 (金融機関・企業等)

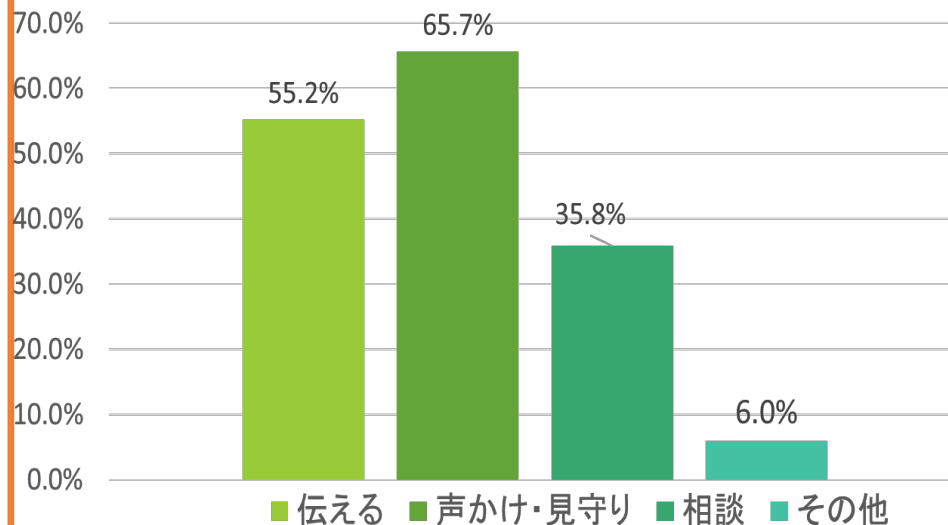
年代割合(%)



内容は今後に活かせるか



今後どんなところで活かせるか



地域包括支援センターに連携させていただける事を聞き安心できた。

認知症の方や、お年よりの方の役に立てるようにしたいと思いました。

認知症への理解、イメージが変わったのと、正しい対応の仕方を知れてよかった。

認知症の方をサポートしていけたらと思います。

10年ぶりぐらいに講座を受講しましたが、何年かには一度は確認のためにも受講したほうが良いと感じました。



(実施してみたの感想)

金融機関や小売店、スーパー等では、すでに認知症の方への対応が行われていることがわかった。しかしながら、認知症に対するイメージは依然としてネガティブなものが多い。今後は、認知症の方を地域で暮らす一人の生活者として捉え、企業等にも認知症サポーター養成講座の受講を促しながら、地域全体で支え合える環境づくりを少しずつ進めていく。



『認知症サポーターカード』を、レジ横に掲示!!